



市議会

だより

Contents

令和6年5月発行

第1回定例会	P 2-3
委員会レポート	P 4-6
一般質問	P 7-9
同時選挙について	P 10
gikai 掲示板	P 11
こんな活動しました かいづキラリ	P 12

平田青年クラブ活動の様子



第1回定例会

令和6年度当初予算決まる！ 総額314億6,240万円

令和6年第1回定例会は、初日、市長より施政方針と提案説明があり、2/27～3/22までの25日間の会期で開かれました。41議案のうち、2議案において討論があり、採決の結果、賛成13反対1で可決。その他の案件は、全会一致で可決しました。

審議結果
予算 20件
条例 15件
その他 6件

令和6年度会計別当初予算

(単位:千円)

区 分	令和6年度(A)	令和5年度(B)	比較(A)-(B)	
	当初予算額	当初予算額	増減額	増減率
一般会計	17,520,000	17,590,000	△70,000	△0.4%
特別会計	8,862,400	9,094,100	△231,700	△2.5%
クレール平田運営特別会計	64,300	59,000	5,300	9.0%
月見の里南濃運営特別会計	93,500	457,400	△363,900	△79.6%
国民健康保険特別会計	4,011,700	4,038,900	△27,200	△0.7%
介護保険特別会計	3,676,100	3,602,600	73,500	2.0%
後期高齢者医療特別会計	1,016,800	936,200	80,600	8.6%
企業会計	5,076,500	5,145,500	△69,000	△1.3%
水道事業会計	1,228,400	1,563,200	△334,800	△21.4%
下水道事業会計	3,848,100	3,582,300	265,800	7.4%
駒野奥条入会財産区会計	1,800	2,400	△600	△25.0%
羽沢財産区会計	1,700	1,500	200	13.3%
合 計	31,462,400	31,833,500	△371,100	△1.2%

《附帯決議》 令和6年度一般会計予算

駒野工業団地の地下水が進出企業にとって工業用水として適さないため、起因する対策費2,000万円が計上されていることに対するもの。

「1.リスクマネジメントの強化」、「2.不測の事態が生じた場合は市民に対して理解が得られる説明を議会に報告すること」の2点を付した。

まめ知識

附帯決議とは…可決された案件に対して、議会の希望意見として付すものをいいます。法律的な効力はなく、政治的に尊重されるべきものとされています。

令和6年度一般会計補正予算

(単位:千円)

補正内容	補正額	補正後予算額
駒野工業団地の進出企業に対する設備整備費の補助金の増額	30,000	17,550,000

《討論》 賛成 伊藤 誠 議員

このような形で追加上程されることは極めて異例であるが、追加予算計上の判断および議会日程上、追加議案提出はやむを得ないものである。本議案においても附帯決議の内容を踏まえて取り組むことを求める。



建設中の(株)ジーテクト「中部工場」

令和5年度補正予算

(単位:千円)

区 分	補正額	補正後予算額
一般会計	96,720	18,662,444
特別会計	△5,459	
クレール平田運営特別会計	△5,807	57,541
月見の里南濃運営特別会計	140,818	451,593
国民健康保険特別会計	359,288	4,203,189
介護保険特別会計	20,367	4,008,178
後期高齢者医療特別会計		964,415
企業会計	△54,097	
水道事業会計	△73,469	1,536,004
下水道事業会計	△280	3,490,803
駒野奥条入会財産区会計		2,120

一般会計補正予算の主な内容

- ・平田中学校のバリアフリー化、城南中学校のトイレ洋式化 4,401万円
- ・(一社)養老線管理機構が行う鉄道再構築事業費への沿線市町による協調補助金 5,140万円
- ・私立認定こども園に対する施設型給付費負担金の増額 3,049万4千円
- ・こどもの医療費助成の増額 1,000万円
- ・指定管理施設の指定管理者に対し、電気価格等の高騰分を補助(水晶の湯、宙舟の湯、市民プール) 949万6千円



賛否一覧表

(賛否の分かれた事件のみ掲載しています)
ただし橋本議長は採決に加わりません。

議 案 名	議 決 結 果	清 政 和 会 流 くらぶ				海 津 市 議 会 公 明 党	幸 福 実 現 党	日 本 共 産 党	f o r か い づ	会 派 に 属 さ ない 議 員						
		水谷武博	服部寿	伊藤誠	里雄淳意	浅井まゆみ	伊藤久恵	松岡唯史	二ノ宮一貴	川瀬厚美	藤田敏彦	小粥努	北村富男	片野治樹	古川理沙	
3/22 議案第9号 令和6年度介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
3/22 議案第29号 介護保険条例の一部を改正する 条例について	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

《議員発議》

●議会委員会条例の一部改正

行政組織改編に伴い、常任委員会の所管および名称の変更をするため。〈文教福祉委員会→文教民生委員会〉

●パレスチナ自治区ガザ地区における人道目的即時停戦等の実現に関する決議



まめ知識

議員発議とは…議案は通常、市長より提案されますが、議員から提案することができます。主に、意見書や条例案などがあります。

《討論》

●介護保険特別会計予算

●介護保険条例の一部改正



反対 松岡唯史 議員

今回の案では介護保険料が引き上げられるが、基金残高は6億円弱の見込みであり、基金を取り崩してでも介護保険料を据え置きすべきと考えるため。

また、制度自体に問題があり、国庫負担引上げを国へ求めることも要望する。

第1回臨時会

2024年1月29日に第1回臨時会が開かれ、
予算1件、その他3件を原案のとおり可決した。

審議結果

予算 1件
その他 3件

令和5年度一般会計補正予算 2億2,435万6千円追加

一般会計補正予算の主な内容

- ・キャッシュレス決済ポイント還元事業、住民税均等割のみ課税世帯等に対する支援事業

《その他》

- ・道の駅「月見の里 南濃」用地取得について
(取得金額 3億3,522万1千円)

予算特別委員会 2024年3月6日、7日、8日

主な審査内容

付託された議案は令和6年度一般会計予算で、審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきもの。

主な質問と回答

総務関係（3月6日）

ふるさと応援寄附金 6,000万円

Q 令和4年度と令和5年度のふるさと納税寄附金額から必要経費と市民税控除額を差し引いた収支は。

A 令和4年度は約1,400万円プラス。令和5年度は約1,800万円マイナスであるが、市民税控除による減収分の75%は地方交付税で補填されることを考慮すると、同じ位かプラスになる見込み。



ふるさと納税返礼品

防災行政無線管理事業 1億9,390万1千円

Q 詳細説明を。

A 放送をより鮮明に聞こえるようにするため、現在の防災行政無線スピーカーを高性能スピーカーに更新するもの。



防災行政無線イメージ図

教育関係（3月7日）

スクールバス運行事業 1億3,877万3千円

Q 詳細説明と統合に伴う維持管理費の減額は、どのくらいか。

A 海津小学校に係る分は1億2,470万円で、うち2分の1は5年間国から補助される。なお、統合に伴い、小学校の運営にかかる維持管理費は約5,900万円減額となる。



スクールバス

体育施設改修事業 2億8,534万8千円

Q 平田体育館の大規模改修約2億5千万円について、詳細説明を。

A 平田体育館は昭和54年建築であり、令和4年度に行った耐震診断の結果も踏まえて、耐震補強等の工事を行う。なお、大きな大会を行うために平田体育館や南濃体育館は残してほしいという要望もあったため、改修し維持していく。



平田体育館

福祉関係(3月7日)

重層的支援体制整備事業 9,928万4千円

❶ 福祉総合支援室と同事業の詳細説明を。

❶ 社会福祉課内に福祉総合支援室を設置。室長と担当3名を配置し、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた一体的な活動をしていく。

こども未来館整備事業 1億8,489万3千円

❶ 運営方法や愛称募集について説明を。

❶ こども未来館1階「ふれあい広場」は直営で職員3名を配置予定。2階「キッズ広場」は外部委託し、利用状況に応じて職員配置を調整する。また、市報への折込みチラシ、ホームページ、SNS等で幅広く愛称を募集する。



整備中のこども未来館

産業関係(3月8日)

企業誘致事業 2,298万7千円

❶ 詳細説明を。

❶ 事業費のうち2千万円については、駒野工業団地の区画2において、進出企業から工業用水として地下水が確保できない旨の報告と対策要請を受けたため、企業立地に関する協定書に基づき、水道水を冷却して循環させる設備に係る費用の補助制度(2分の1)を創設し、工場建設を支援するもの。



(株)ジーテクト「中部工場」完成イメージ図

総括質疑(3月8日)

❶ 市長就任から3年経過し、「子育て世代に選ばれるまちづくり」を掲げて市政運営をされてきたが、現時点での自己評価と令和6年度当初予算において、どのように反映しているのか。

❶ 市長就任以降3回目の当初予算編成となるが、市政運営は結果がついてこなければ意味がないと考えている。「選ばれるまちづくり」の実現に向けてまだまだである。

11月オープンの「こども未来館」は、遊び・学びの提供や子育て世代の交流の場として、また市民団体との協働により、まち全体で子育て支援を行っていくための拠点施設。あらゆる世代に来ていただき、市民活動支援センターとも連携して、両面から子育て支援の機運を高めていきたい。

また、令和6年度は、総合計画後期基本計画の中間年であり、市民アンケートにより事業の必要性を見極めていく。

引き続きまちの魅力を高めて、切れ目のない子育て支援を継続的に行い、「子育て世代に選ばれるまち」となり、住み続けていただけるよう情報発信をしていく。



子育て支援センターかいづ

❶ 職員の業務が一段と大変になるのでは、と懸念している。円滑な業務運営ができるような職員の採用方針は。

❶ 職員確保が困難な状況もあり、外部人材の登用を図っていく。必要な部署には職員を増やす必要があり、人事部局と協議し進める。

総務産業建設委員会 2024年3月12日

主な審査内容

付託された議案は、令和6年度特別会計予算6件、令和5年度一般会計補正予算のうち本委員会の所管に属する事項の他、令和5年度特別会計補正予算5件、条例改正等9件。審査の結果、全21案件は、全て全会一致で原案のとおり可決すべきもの。

主な質問と回答

消防費 ー救急対策事業ー

Q 高度救急処置訓練人形の詳細説明を。

A 現在使用している訓練人形1体を、救急隊員の救急救命技術の向上を図るため、薬剤投与、心電図の解析、気管内挿管などの訓練評価がモニタリングできる高性能モデルの人形に更新する。



高度救急処置訓練人形

文教福祉委員会 2024年3月13日、18日

主な審査内容

付託された議案は、令和6年度特別会計予算3件、令和5年度一般会計補正予算のうち本委員会の所管に属する事項の他、令和5年度特別会計補正予算3件、条例改正等5件。審査の結果、継続審査1議案を除くその他11案件は、全て全会一致で原案のとおり可決すべきもの。

また、継続審査となった議案については、3月18日の本会議において議案の訂正を受け、再審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきもの。

主な質問と回答

南濃総合福祉会館ゆとりの森条例

Q デイサービスセンター南濃の廃止理由と利用者、施設の今後について詳細説明を。

A 近年、民間事業者により多くのデイサービス事業所が開設され、介護サービスの供給は十分満たされている。また、施設の老朽化により維持管理費の増加も見込まれるため廃止する。

利用者にはデイサービスの利用が継続できるよう、市内の介護サービス事業所へ移っていただく。

また、ゆとりの森施設の利活用については市民の意見を聞きながら検討を進めていく。



デイサービスセンター南濃

8名が登壇

二ノ宮一貴 議員

松岡唯史 議員

北村富男 議員

里雄淳意 議員

浅井まゆみ 議員

古川理沙 議員

伊藤 誠 議員

片野治樹 議員



能登半島地震から考える今後の備えは

二ノ宮一貴 議員
(forかいづ)



Q 被災地へ派遣された職員の活動内容などの共有は。

A 経験や教訓を職員向けポータルサイトに掲載し、全職員で情報共有する。



Q 女性視点の取り入れは。

A 防災会議やワークショップで意見を聞き、防災体制や備蓄資機材の整備に活かしていく。

Q 防災対策や取り組み強化は。

A 国の報告書を踏まえ、地域防災計画や災害対応マニュアルなどの見直しを行っていく。

Q 井戸の事前登録の検討は。

A 他自治体の事例を調査研究し検討していく。

Q 市民に伝えたいことは。

A 各地で発生する災害を我がこととして受け止め、自身にあった災害の備えを行い、自身の命は自ら守る意識を持つことが重要。

特定妊婦について

Q 特定妊婦などの人数は。

A 特定妊婦は令和5年度までの5年間で7名。特別な支援が必要な妊婦は全体の1割程度。

Q 平日の昼間に相談に来られない妊婦への対応は。

A 事前の申し出による時間外の相談など柔軟に対応している。



災害時におけるトイレの確保・管理計画を

松岡唯史 議員
(日本共産党)



Q 福祉避難所は、受入対象数に対して足りているのか。

A 想定する最大受入対象数に対し、収容人数が不足しているため、各小中学校の体育館や教室に「福祉避難スペース」を設け対応する。なお、新たな福祉避難所指定に向け、介護事業所と協議している。

Q 福祉避難所の物資・器材の備蓄状況は。

A 食料や飲料水、医療品、介護用品等は備蓄しているが、補聴器やストーマ用装具等の器材が不足しており、今後計画的に備蓄する。また、事業者等と協定締結し、災害時の物資・器材確保に努める。

Q 災害時におけるトイレの確保計画策定の進捗状況は。

A 能登半島地震の初動対応に関する検証結果を踏まえ、計画を策定する。



仮設トイレ

Q 仮設トイレや携帯トイレの備蓄状況は。

A 仮設トイレは40基、携帯トイレは16,140枚を備蓄しているが、内閣府のガイドラインによる発災後3日間に必要な携帯トイレ数は約15万5千枚、目標トイレ数は207基であるため、計画的にトイレを増やす。



稼ぐ職員、稼げる自治体を目指して

北村富男 議員



組織力強化のために人材育成を

里雄淳意 議員
(政和会・清流くらぶ)



小中学校の防災機能強化への取り組みを

浅井まゆみ 議員
(海津市議会公明党)



いかに歳入を確保するか、今後多様な視点を持ち、コスト意識、稼ぐ意識をもって取り組んでいかなければならないと考える。

Q ふるさと応援寄附金の推進は。

A 特産品等を活用した魅力的な返礼品の掘り起こしや開発に取り組む。また、組織改編した観光・シティプロモーション課でふるさと応援寄附金の業務、PRを本市のプロモーションと併せて展開し、寄附金の増額を図っていく。

Q 返礼品数は。

A 現在251点。新規で20点～30点増やしたいと考えている。



観光・シティプロモーション課提供

Q 基金運用とリスク管理について。

A 資金管理計画に基づき、現在11億円の債券を保有し、令和10年度の債券保有額を31億円とし、3,800万円の運用益を見込む。リスク管理については、大手証券会社よりアドバイスを受け、安全で有利と判断した債券を購入している。

小学校の在り方について

Q 今後の在り方、方針は。

A 平田地域、南濃地域、いずれの地域においても、現時点では学校の統合は考えていない。

Q 『海津市人材育成基本方針』の改定は。

A 人材確保に関する内容を含めた『海津市人材育成・確保基本方針』に改定する。

Q 現行の人材育成の方策は。

A 全ての職員が経験年数や役職に応じて市町村研修センターの研修に参加。市でSDGs研修やナッジ理論を活用した資料作成研修等の幅広い研修を開催。

Q 民間からの専門人材の採用を積極的に行ってはどうか。

A 社会福祉士の資格を有し福祉施設等で職務経験が20年以上ある方を公募し、令和6年度から「福祉総合支援室長」として採用する。また、引き続き任期付職員任用制度や地域活性化起業人制度等の国の制度を活用し、民間人材の登用に取り組む。さらに職員の採用において、社会人経験者の経験年数に応じ主任・主査という職階での登用を始める。

Q 稼げる農業・雇用を生む農業の実現へ向けての方針は。

A 令和5年7月トヨタ自動車(株)との間で「農業を通じた地域社会の形成・振興に関する協定」を締結。一番のねらいは「トヨタカイゼン方式」を本市農業に導入し、さらに大規模化が進む農業法人の所得を向上させること。

Q 小中学校の体育館への空調設置は。

A 令和6年度、中学校にスポッ トクーラーを配備する。空調設置については、今後、財政状況に鑑み検討する。

Q 非構造部材の耐震化は。

A 令和6年度に点検を行い、計画的な改修を実施。照明器具のLED化と落下防止対策を進める。

Q 地区防災計画の策定が現在2件に留まっている理由は。

A 地域の核となるリーダーが存在しないため、今後防災リーダーの養成に努める。

Q 防災士の資格を取得された方は270名いるが、職員は何名か。

A 60名。



軟骨伝導イヤホンの導入について

Q 耳の周囲にある軟骨を振動させて音を伝える軟骨伝導は、大声で話すことによって個人情報や周囲に聞かれるリスクを減らすことができ、難聴者のプライバシーの保護につながるため窓口を設置しては。

A 市民課、高齢介護課、社会福祉課の窓口を設置するとともに、利用状況等を踏まえ、必要に応じて設置場所を増やしていく。



時代に即した健康管理の休暇制度を

古川理沙 議員



持続可能な自治体運営に向けた長期的施策は

伊藤 誠 議員
(政和会・清流くらぶ)



合併20周年の節目に本市をPRする取り組みは

片野治樹 議員



❶ 市職員の生理休暇を病気休暇から特別休暇に変更しては。

❶ 特別休暇とする。また、生理休暇を取得しやすい職場風土の醸成に取り組む。

❶ 人間ドック、がん検診等、健康維持増進に関わる特別休暇を新設しては。

❶ 速やかに特別休暇を新設し、職員が心身ともに健康で働ける職場づくりに取り組む。

海津まると防災強化について

❶ 生活用水確保のため雨水貯留タンクの購入補助を新設しては。



❶ 災害対策に有効であり、防災意識の高揚、防災力の向上につながるため購入補助を創設する。

❶ マンホールトイレを計画的に設置してはどうか。

❶ 本市の大部分が海拔ゼロメートル地帯であるため、積極的な導入は行わない。

❶ 発災後、速やかに介護サービスの開始につなげるため、クラウド型被災者システムの避難情報を介護支援事業所等と共有する仕組みを整えては。

❶ 情報共有の方法や連絡体制について協議し、発災後も介護サービス等を早期に提供できる仕組みを整えていく。

❶ 市長の今期の任期が残り1年余りとなった今、過去3年を振り返り「子育て世代に選ばれるまちづくり」の手応えは。

❶ 各種の移住定住支援策を受けて市外から本市に移住した人の数は、令和4年度42世帯で136人、令和6年2月末時点29世帯で97人であり、一定の成果があった。ほかにも「子育てエンJOYクーポン」に対して喜びの声が寄せられるなど、移住定住奨励金以外も評価を得ている。今後は、各種事業の成果を検証して見直しを図り、効果を高めていく。具体的には、令和6年度に個別事業についての市民アンケートを実施し、ブラッシュアップしていく。

❶ 持続可能なまちづくりのため関係人口誘致施策についての考えは。

❶ 本市に興味・関心を抱いていただけるよう観光誘客の促進を図り、交流人口の増加につなげるとともに、様々なまちの魅力を発信して「海津市ファン」を獲得し、関係人口への転換を図る取り組みを推進する。そうした観点から、交流人口・関係人口の創出・拡大を図るため、「観光・シティプロモーション課」を新設し、観光誘客とまちの魅力発信に一体的に取り組む。

❶ 本市は令和7年3月に合併20周年を迎えるが記念事業等の計画は。

❶ 令和7年11月に記念式典を開催予定。また、プロモーションビデオを作成し本市の魅力を県内外へ広く発信していく。

❶ 海津市ファンクラブを創設しては。

❶ 本市オリジナルのファンクラブを創設し、関係人口拡大に向けた取り組みを進めていく。



❶ 県内のインバウンド※需要が好調な今、本市もインバウンドの獲得対策へ取り組んでみては。

※海外からの観光客

❶ 旅行事業者などからインバウンド客に喜ばれる取り組みなどに関する情報を集めるとともに先進地の取り組みを学び、インバウンド対策を検討していく。

❶ シティプロモーション計画は。

❶ 「観光・シティプロモーション課」を新設し本市の自然、文化、歴史、子育て、スポーツ、移住定住施策など市のあらゆる魅力をこれまで以上に積極的に発信していく。また、「シティアンバサダー」を任命し、大いにまちの魅力を発信していく。

議会解散に対する 意思確認投票を行いました

「賛成・反対」だけではなく、同時選挙によって期待できる効果、心配される懸念材料などについて議員間討議を重ねたうえで、記名式による意思確認投票を行いました。

※議席番号順、本人提出による原文まま掲載



賛否理由の詳細については、市議会HPに掲載しています。ぜひ、ご覧ください。



賛成

古川理沙 議員

合併時の特例によるズレを戻し、市の選挙費用節減にもなるため

賛成

片野治樹 議員

市選挙経費削減。有権者の関心度が高まり投票率向上が期待できる

賛成

北村富男 議員

効率的で経費削減になり、有権者の負担も軽減されるため

賛成

小粥一努 議員

今後の事も鑑み今、合併時のズレを戻し経費や負担軽減にもなる

賛成

里雄淳意 議員

選挙間が5カ月。同時にすれば市民・職員の負担軽減。経費削減。

賛成

伊藤一誠 議員

市民の皆様の市政への関心も高まり、財政面でもメリットは大きい

賛成

二ノ宮一貴 議員

合併特例で生じた議会議員選挙と市長選挙のズレを改めるため

賛成

伊藤久恵 議員

選挙にかかる経費の削減や、市民・職員の負担軽減になるため

賛成

浅井まゆみ 議員

経費削減や投票率のアップが見込め、職員の負担軽減もできる

反対

松岡唯史 議員

市民から負託された4年間の任期を自ら縮めるべきではない

反対

藤田敏彦 議員

市議の選挙運動に力が入らなくなるため、同時選挙は反対

反対

川瀬厚美 議員

講師高沖氏は議員の任期は重い。自覚し仕事をした。任期を全う

賛成

服部一寿 議員

大多数の市民の声、経費が削減でき、市民・職員の負担軽減

賛成

水谷武博 議員

同時選により市民の負担軽減、投票、市政関与アップ、市経費削減

賛成

橋本武夫 議員

同時選挙は令和3年選挙時の公約。市民に信頼される議会を作る

議会改革検討委員会

- ・議員間討議の進め方
- ・自主解散する場合のスケジュール
- ・意思確認の仕方
- ・市民の皆さんへの伝え方



議員間討議

- ・同時選挙についての意見交換
- ・同時選挙のメリット・デメリット
- ・自主解散の意思確認の必要性

3/22
意思確認投票

議会の解散については、議員発議による議案の提出および採決の結果次第となります。



あれこれ

gikai揭示板



その1 お知らせ

第2回定例会(予定)

会期日程 5月31日~6月17日

一般質問 6月4日、5日



詳細については、
市議会ホームページをご覧ください。

その2 「出張！議員と語ろう会」募集



応募フォーム

議会事務局
電話 53-1110
メール gikai@city.kaizu.lg.jp

その3 研修・行政視察受け入れ



研修

1月19日
「住民協働」
羽島市議会を招いて
合同研修を実施。



行政視察受け入れ

2月9日
大阪府茨木市議会
会派(公明党)
「行政評価における
SDGs推進状況の評価」



研究活動

委員会協議会を開催し、政策提案を目指します。

総務産業建設委員会 研究テーマ

●観光の振興

盛んな農業等を活かし、新たな観光資源や分野を見つけ商品開発し、道の駅を有効活用して新たな観光スタイルの提言を目指す。

●住環境の整備

人口減少対策、若い世代の市外転出を抑制し、U・Iターンを促進するための先進事例を学び、本市に有効な移住・定住施策の提言を目指す。

文教民生委員会 研究テーマ

●行政×高校生(高校生の行政参画)

少子化が進む中、地元唯一の高校「海津明誠高校の魅力化」や若者の視点を用いたまちづくりを進めるための仕組みづくりにつながる提言を目指す。

●地域福祉(共生社会)

少子高齢化が進む中、複雑化・多様化するニーズに応え、誰もが安心して暮らせるまちづくり(福祉サービス)の具体策についての提言を目指す。



編集後記

今年の3月で海津町内の高須、吉里、東江、大江、西江小学校の5校が閉校しました。今まで多くの子どもたちを育んでいただいたことに、心から感謝いたします。そして、4月からは5校が統合し、新たに海津小学校が誕生しました。

さて、今回の定例会では、多くの新規事業が盛り込まれた新年度予算が可決されました。また、行政の大規模な組

織改編も行われます。

駒野工業団地では、(株)ジーテクトが工場を建設中です。また、菓子メーカー(株)湖池屋の進出も決定し、訪れた人がポテトチップスを作れる体験施設が併設される予定です。今後、新たな雇用による人口増加や観光誘客につながることを大いに期待しています。

(伊藤久恵)

広報編集委員会

委員長 松岡唯史

副委員長 古川理沙

委員 伊藤久恵

小粥 努

北村富男

片野治樹

橋本武夫



文教福祉委員会視察研修

研修

2024年2月6日

「そよかぜ高田教室(養老町)」の充実した教室環境、支援プログラムや公営で療育を取り組むことの意義など、勉強させていただきました。「すべての養老町の子のために」という言葉が大変印象的で、本市においても、すべての海津の子どもたちの健やかな育ちために、療育(発達支援)のあり方についてどのようにしていくとよいか、協議会を開催しながら研究を進めて参ります。



議員と語ろう会

交流

2023年12月16日



多くの中高生の皆さんに参加いただき、「どうする海津～Z世代と共に海津の未来を語ろう～」をテーマに「海津のよい点・残念な点・これから期待したいこと」について、グループごとに交流し、ワークショップ終了後は、「同感!」と感じるものにシールを貼っていただく形でさらに交流を深めました。当日の様子や記録はHPに掲載されています。ぜひ、ご覧ください!

かいづキラリ



平田青年クラブ

会長 渡辺博基さん



●平田青年クラブとは?

1965年に発足し、60期目。

●現在のメンバーは?

20歳～50歳まで、30名で活動しています。

●どのような想いで活動していますか?

「自分たちが生まれ育ったまち、働くまち」のお手伝いがしたい、恩返ししたい!という気持ちだけです。

●ボランティア活動が続けるのは大変では?

「自分が楽しむ!」やっぱり、楽しくなければ続かないと思います。これまで先輩たちがつ

ないできた「人のつながり」を絶やさず、楽しんで次の若い世代につないでいきたい。

●活動を続けていくのも大変なのは?モチベーションの源は?

一回り以上違う年齢の若者と一緒に何かやれることがとにかくうれしい。一緒に活動してくれる若い世代の子たちがとにかく可愛い。

募集

海津市議会では、…頑張っているヒト・団体、自慢できるバショなどの情報を募集しています。自薦他薦は問いません。下記お問い合わせ先まで、ぜひ情報をお寄せください。